

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	安全を優先することで玄関などの施錠が常態化し、本来の利用者の自由を奪い、拘束をしない支援の弊害になりえる危険性がある。	スタッフが拘束に関する知識を高め、安全性は確保しながら、ご利用者様の自由を奪わない生活を目指す。	2か月に一度、拘束など不適切なケアに関する見直しを行い、必要に応じて研修を行うことにより、スタッフへの拘束に関する知識向上を図る。外出希望のあるご利用者様には話の傾聴と迅速な対応を行い、精神の安定化を図り、必要以上のドアの施錠がないようにする。	12ヶ月
2	13	夜間の災害発生時、職員のみでの対応には限界がある。地域の協力も得られるように関係性の発展が必要である。	地域との交流を深め、夜間帯の災害時など、緊急時、相互に協力する関係性を築く。	自治会や地域の行事に多く参加し、交流を深めることにより関係性の向上を図る。また、緊急時、相互に協力出来るように依頼する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。